

私大入試 一般志願者 減少傾向に！ 総合型・推薦型志向は継続

一般選抜志願者、2023年は前年より4%減。約3割の大学が3年前の半数未満に

旺文社 教育情報センター 2023年9月29日

2023年の私立大学一般選抜志願者は、前年より4%減少(弊社推計)。一方で、総合型・学校推薦型での大学入学者の割合は上昇傾向が続いている。

※本稿のデータは主に、弊社「入試結果調査(7月末)」「大学の真の実力 情報公開BOOK」ならびに、文科省資料による。

※一般選抜＝独自方式と共通テスト利用方式。

※志願者数は延べ数。

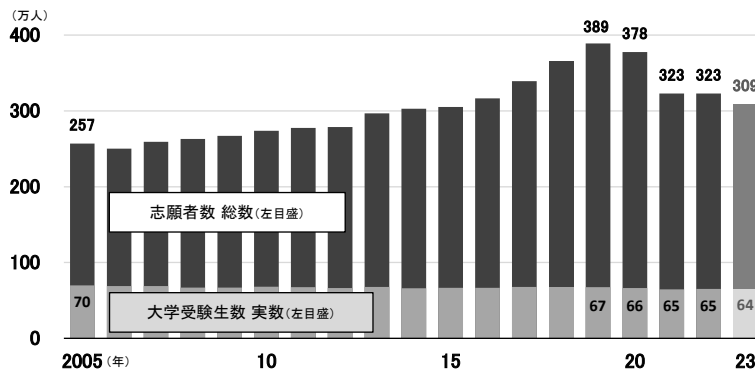
■2021年入試改革とコロナ禍で潮目が変わった

私立大学の一般選抜志願者数は減少傾向だ(図表1)。入試日程・方式の多様化、受験料割引制度の拡充、学部・学科の増設、受験生の安全志向など併願増への要素により、ながらも増加していた志願者数は、2020年に14年ぶりに減少。続く2021年を境に潮目が変わったと言える。受験生や保護者の安全志向が、総合型・推薦型での大学進学を後押し。一般選抜を受験する層が厚みを失ってきている。

近年の私立大学の入試を概観

- ・2017～2019年:2016年からの「定員管理厳格化」による合格者絞り込みが併願増を後押し。一方で、総合型・推薦型志向が高まる。
- ・2020年:翌年に入試改革を控え、受験生が超安全志向に。難関～準難関大は敬遠されて志願者減。総合型や指定校制推薦に受験生が流れる。公募制推薦は易化。14年ぶりに一般選抜の志願者が減少。
- ・2021年:入試改革元年&コロナ禍。地元志向・安全志向、併願校数の絞り込みが顕著。志願者数大幅減。
- ・2022年:大規模校で志願者増が見られる一方、中小規模校は減少。総合型・推薦型が合格者増。一般選抜を受ける層が厚みを失う。併願校数の絞り込みも見られる。
- ・2023年:総合型・推薦型志向が継続。「ブランド校」で志願者増が見られる一方、減少した大学は少なくない。

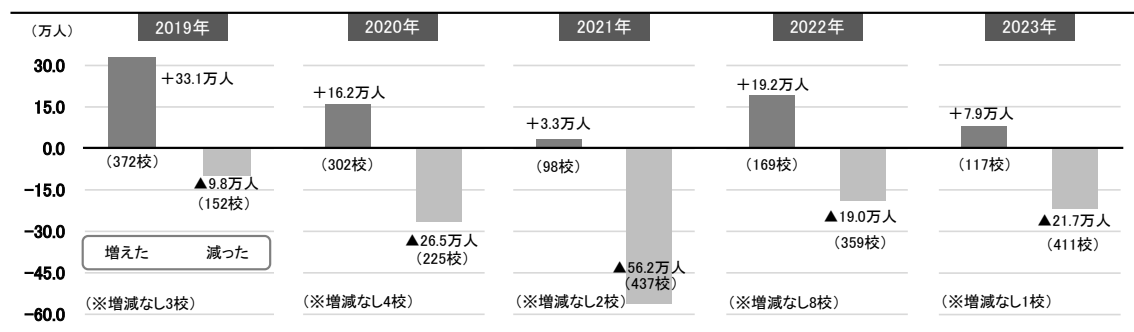
[図表1] 私立大学一般選抜の志願者数の推移



※志願者数(延べ数):2022年以前は文科省資料による。2023年は旺文社推定。

※受験生数(実数。全日制・定時制高校、中等教育学校後期課程卒。現役・既卒計):2022年以前は文科省資料より算出。2023年は旺文社推定。

[図表2]私立大学 一般選抜志願者数 前年より「増えた・減った」大学数と、その増減人数



2022年・2023年を、入学定員の規模別に見ると…

2023年				入学定員				志願者数の合計			
4,000人以上	2022年	2023年	前年差	1,000人～2,000人未満	2022年	2023年	前年差	2022年	2023年	前年差	
増えた[8校]	519,822	552,610	32,788	増えた[19校]	319,660	341,463	21,803	増えた[82校]	104,435	118,374	13,939
減った[12校]	848,933	795,970	▲ 52,963	減った[62校]	493,864	432,213	▲ 61,651	減った[319校]	366,702	294,099	▲ 72,603
				増減なし[1校]	3	3	0	増減なし[1校]	3	3	0
2,000人～4,000人未満	2022年	2023年	前年差	1,000人未満	2022年	2023年	前年差				
増えた[8校]	171,405	181,623	10,218	増えた[126校]	187,918	231,412	43,494				
減った[18校]	353,229	323,633	▲ 29,596	減った[274校]	313,704	253,354	▲ 60,350				
				増減なし[8校]	1,346	1,346	0				
2022年				入学定員				志願者数の合計			
4,000人以上	2021年	2022年	前年差	1,000人～2,000人未満	2021年	2022年	前年差	2021年	2022年	前年差	
増えた[13校]	858,944	939,549	80,605	増えた[22校]	334,270	385,822	51,552	増えた[82校]	104,435	118,374	13,939
減った[7校]	454,585	429,206	▲ 25,379	減った[59校]	498,787	433,598	▲ 65,189	減った[319校]	366,702	294,099	▲ 72,603
				増減なし[1校]	3	3	0	増減なし[1校]	3	3	0
2,000人～4,000人未満	2021年	2022年	前年差	1,000人未満	2021年	2022年	前年差				
増えた[8校]	172,455	188,528	16,073	増えた[126校]	187,918	231,412	43,494				
減った[19校]	394,607	355,735	▲ 38,872	減った[274校]	313,704	253,354	▲ 60,350				
				増減なし[8校]	1,346	1,346	0				

※旺文社調査による判明分。各年とも、当年と前年の志願者数が判明した比較可能な大学の数値の集計(2019年527校/2020年531校/2021年537校/2022年536校/2023年529校)。例:2023年は529校が、当年と前年の志願者数が比較可能。

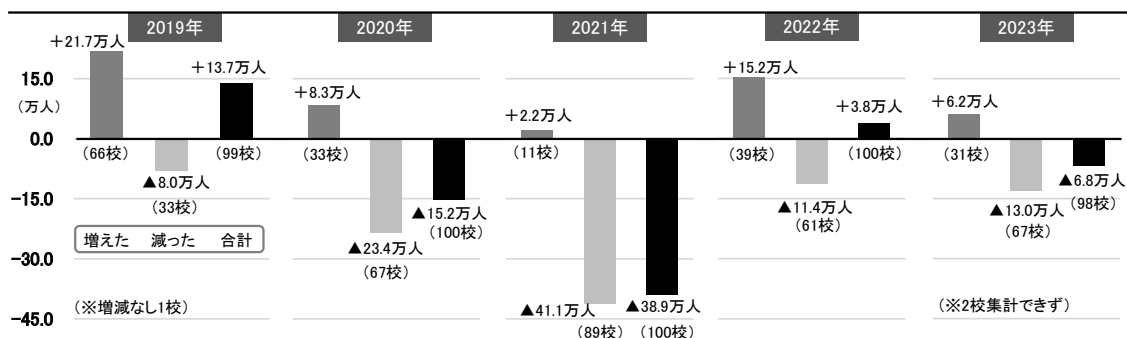
■2023年は定員規模の別によらず、志願者減の動き

図表2のグラフは、一般選抜の志願者数が「当年・前年とも」に判明した大学の、その増減状況を示したものだ。

2019年は、372校が前年より志願者が増加(その合計33.1万人)、152校が志願者減(同9.8万人)と、増加幅が減少幅を大きく上回る。入試改革&コロナ禍の初年度だった2021年の志願者数減少の大きさは、あらためて目をひく。2022年は前年並の数値を示したが、2023年はそれが続かず、減少幅が増加幅を上回った。集計校数の8割弱、411校で志願者は減少した。

図表2の下部で、志願者数の増減を、大学の入学定員の規模別に見てみる。2022年は、入学定員4,000人以上の大規模校では志願者増になっているが、他の区分は志願者減の大学が多く、区分計でも志願者減となっている。2023年は、図示した4つの入学定員規模の区分のいずれでも志願者数は減少。入学定員の規模が小さくなるにつれて、志願者数が減少した大学の割合が高まっている。

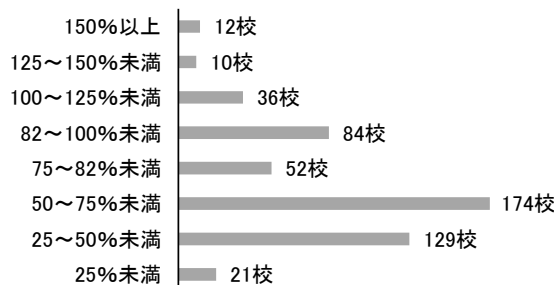
[図表3] 私立大学 一般選抜志願者数 上位100校の翌年の増減(校数、人数の計)



※旺文社調査による判明分。

※例:2023年を示す数値は、2022年の志願者数上位100校が、2023年に志願者が増えたか減ったかを追跡、その増減校数と人数の計。

[図表4] 2023年 私立大学 一般選抜志願者数を 2020年と比較した増減率の分布



※旺文社調査による判明分。

※2023年と2020年の志願者数が判明している518校の集計。

図表3は、前年の志願者数が上位100校に入った大学の、翌年の志願者数の増減を集計したものだ。2021年は多数の大学が志願者減。2022年は志願者増、志願者減の大学に二分。2023年は再び、減少幅が増加幅を上回り、志願者数上位校でも全体としては減少した。

図表4では、3年前の2020年入試（入試改革前年&コロナ禍は直撃しなかった）と、2023年入試での志願者数の増減率の区別に大学数を示した（全体集計：2023年入試は2020年入試と比べて82%の志願者数）。集計518校のうち志願者数減少460校。全体集計での82%を下回ったのは376校。およそ3割の150校が半数未満になった。

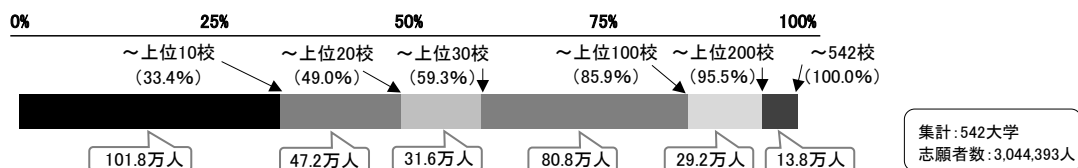
志願者数が少ないと、増減率は大きい数値で算出されることを踏まえ、2020年の志願者数2,000人以上の大学220校を集計すると、2023年に志願者が増えている大学は26校にとどまり、減った大学は194校。半数未満が56校、3分の1未満が16校だった。一例を示すと（2020年⇒2023年志願者数）、2.2万人⇒1.0万人（47%）、1.4万人⇒0.4万人（30%）、1.4万人⇒0.3万人（19%）など、激減している大学もある。

■上位30校で志願者数の約6割を占める。

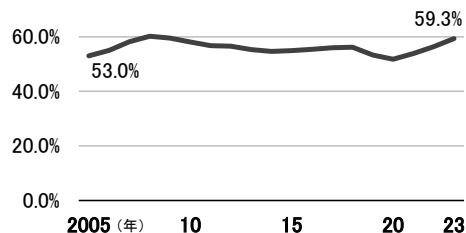
エリア別での志願者占有率は三大都市圏が9割に迫る

図表5は2023年一般選抜志願者の総数に対して、志願者数の多い上位大学の占有率を示したものの、図表6は上位30校での占有率の推移を示したものだ。志願者数上位200校で、占有率はおよそ96%にまで達している。

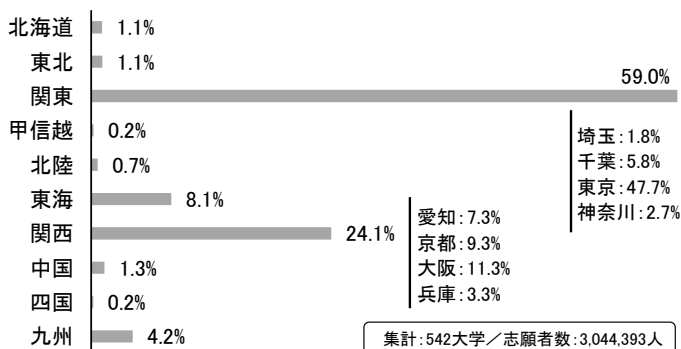
[図表5] 2023年 私立大学 一般選抜志願者数に占める上位校の割合



[図表6]
私立大学 一般選抜志願者数の
上位30校が占める割合の推移



[図表7]
2023年 私立大学一般選抜
志願者数 エリア別の占有率



※図表5・6・7とも旺文社調査による判明分。
※図表7: エリアは大学の本部所在地で分類。

志願者数上位30校の占有率は、年によって上下するものの、おおよそ50～60%で推移。2020年を直近の底（51.8%）として以降、上位30校の占有率は上昇。志願者の集中化が進んでいる。

図表7でエリア別の志願者数の占有率を示した。関東、関西、東海の高さは一目瞭然で、毎年の傾向だ。三大都市圏（埼玉・千葉・東京・神奈川・愛知・京都・大阪・兵庫）で9割に迫る占有率（89.2%）となった。なかでも東京の占有率は圧倒的に高く、関東に占める割合が80.8%、全国で見ると47.7%。全国の一般選抜志願者の半数近くは東京に集まっている。

■「総合型+推薦型」での入学者の割合が継続してアップ！

各入試方式別の入試倍率は低下しており、競争が緩和

図表8は、私立大学の入試方式別の入学者数の割合を弊社調査により示したものだ。年々、一般選抜での入学者割合が低下、総合型・推薦型のいわゆる「年内入試」での入学者割合が上昇している。2023年の「総合型+推薦型（公募制、指定校制、付属校・系列校）」での入学者は、全体の56.1%となった（前年より0.9ポイントアップ）。なかでも総合型での入学者割合は1.5ポイントアップ。入試時期の早い総合型志向の高まりが見られる。

[図表8] 私立大学 入試方式別の入学者の割合の推移

	1年次 入学者数(人) ※有効回答 集計分	入試方式別 入学者の割合						
		一般選抜	総合型選抜 +公募制推薦	(総合型 選抜)	(公募制 推薦)	指定校制 推薦	付属校・系列校 推薦	その他
2016年	406,912	49.0%	21.0%	9.4%	11.5%	18.6%	6.8%	4.6%
2017年	412,526	47.8%	21.8%	10.0%	11.8%	18.7%	6.6%	5.1%
2018年	419,108	46.8%	21.9%	10.4%	11.5%	19.1%	6.9%	5.3%
2019年	419,059	45.4%	21.6%	10.6%	11.0%	20.7%	7.1%	5.2%
2020年	427,147	43.5%	21.4%	11.0%	10.4%	22.7%	7.3%	5.2%
2021年	402,056	41.4%	22.3%	13.2%	9.1%	24.8%	7.3%	4.3%
2022年	397,504	41.1%	24.0%	14.3%	9.7%	24.3%	6.9%	3.7%
2023年	392,181	39.7%	25.5%	15.8%	9.7%	23.6%	7.0%	4.2%

※『大学の真の実力 情報公開BOOK』(旺文社)のデータより作成。 ※一般選抜=独自方式と共通テスト利用方式。

※その他=大学の入試分類により、社会人入試、外国人対象の入試など。スポーツ推薦などを含む場合があるため、総合型・推薦型の割合が低めに出る傾向がある。

※有効回答大学数: 2016年476校/2017年479校/2018年477校/2019年479校/2020年491校/2021年475校/2022年480校/2023年468校。

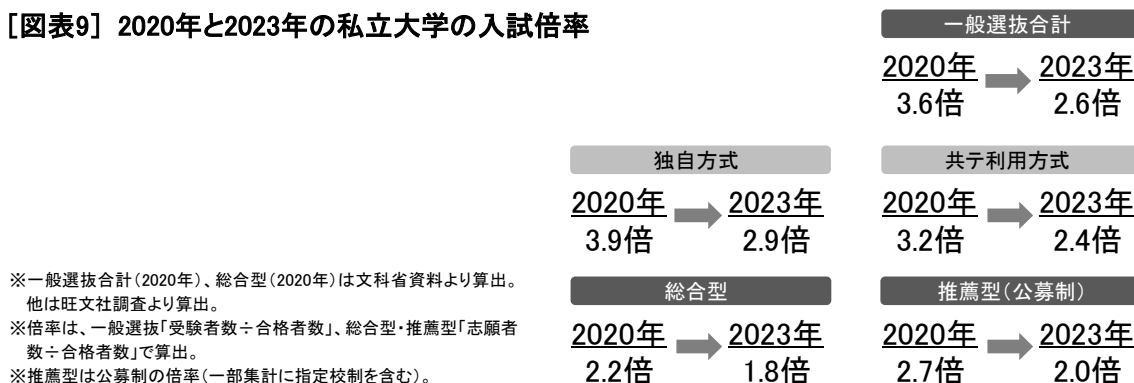
※大学により、回答に際して「公募制と指定校制の合算で回答」「指定校制と付属校・系列校は非公表」などのケースがある。入試方式別の入学者の明細が不明の場合は、集計から除外。

各入試方式の倍率はどうなっているか(図表9)。受験生数が減少傾向のなか、大学や学部・学科の新設、既設大学の定員増などで受け皿が大きくなっていることから、私立大学全体ではいずれの入試方式でも倍率は低下。合格のハードルは明らかに下がってきている。

この8月、日本私立学校振興・共済事業団は、2023年の私立大学等の入学志願動向に関する資料を公表(私立大学600校集計)。全体での入学定員充足率は99.59%で、1989年の調査開始以降でもっとも低い数値。100%を割るのは2021年の99.81%に続き、2回目。入学定員割れの大学数は320校(集計数の53.3%)で、過去最多の校数(割合も過去最高)。私立大学の半数超が入学定員を満たせなかったという厳しい状況が示された。

総合型・推薦型志向の高まり、一般選抜受験者の厚み低下という状況下、大学にとっては、各入試方式別の入学者のバランスをどのように取るかとともに、入学者そのものの確保が引き続き重要な課題となる。

[図表9] 2020年と2023年の私立大学の入試倍率



※一般選抜合計(2020年)、総合型(2020年)は文科省資料より算出。他は旺文社調査より算出。

※倍率は、「一般選抜」受験者数÷合格者数、「総合型・推薦型」志願者数÷合格者数で算出。

※推薦型は公募制の倍率(一部集計に指定校制を含む)。

(2023.9 加納)

次ページに「2023年私立大学一般選抜 志願者数上位100校の一覧」を掲載

■2023年 私立大学 一般選抜(独自+共テ)志願者数の順位別シェア(延べ数=併願あり)

旺文社 教育情報センター-2023.9

◆私立大学 一般選抜 志願者数

2023年志願者	2022年志願者	増減(人)
3,044,393	3,221,317	
* 542大学	* 548大学	
10位まで	10位まで	
1,018,025	1,025,480	-7,455
33.4%	31.8%	
20位まで	20位まで	
1,490,457	1,506,774	-16,317
49.0%	46.8%	
30位まで	30位まで	
1,806,729	1,816,935	-10,206
59.3%	56.4%	
40位まで	40位まで	
2,009,085	2,025,566	-16,481
66.0%	62.9%	
50位まで	50位まで	
2,167,018	2,199,171	-32,153
71.2%	68.3%	
100位まで	100位まで	
2,614,908	2,703,872	-88,964
85.9%	83.9%	
200位まで	200位まで	
2,906,682	3,053,079	-146,397
95.5%	94.8%	

※表中の%は、私立大学一般選抜の志願者合計数(判明分)に対する割合。

◆2023年 一般選抜 志願者数上位100校(単位:人)

順位	<1位~30位>	志願者数	前年順位
1	近畿大	152,458	1
2	千葉工業大	145,128	2
3	明治大	108,042	4
4	法政大	99,051	3
5	日本大	98,506	7
6	立命館大	91,382	8
7	早稲田大	90,879	6
8	東洋大	87,094	5
9	関西大	77,699	9
10	中央大	67,786	10
11	龍谷大	61,083	12
12	立教大	58,208	11
13	東京理科大	50,698	13
14	同志社大	49,972	16
15	専修大	44,918	15
16	青山学院大	43,948	14
17	関西学院大	43,737	20
18	福岡大	41,788	18
19	東海大	39,361	17
20	名城大	38,719	19
21	京都産業大	38,275	23
22	慶應義塾大	37,411	21
23	芝浦工業大	36,687	22
24	東京電機大	33,124	28
25	神奈川大	32,102	24
26	駒澤大	30,684	27
27	武蔵野大	30,314	26
28	上智大	26,552	32
29	中京大	26,479	25
30	東京都市大	24,644	31

順位	<31位~65位>	志願者数	前年順位
31	帝京大	23,155	29
32	南山大	22,248	30
33	東京農業大	21,423	33
34	工学院大	20,476	35
35	國學院大	20,401	34
36	愛知大	19,496	37
37	西南学院大	19,422	45
38	愛知学院大	18,910	42
39	成蹊大	18,435	39
40	獨協大	18,390	43
41	学習院大	18,094	47
42	九州産業大	17,119	44
43	大東文化大	17,076	41
44	甲南大	16,666	53
45	摂南大	16,261	36
46	武蔵大	15,991	46
47	京都橋大	14,380	52
48	成城大	14,208	49
49	東京工科大	14,147	54
50	明星大	13,991	55
51	神戸学院大	13,301	48
52	関東学院大	13,089	59
53	順天堂大	12,918	65
54	東北学院大	12,727	58
55	文教大	12,647	62
56	大阪工業大	12,579	50
57	北里大	12,376	63
58	桜美林大	11,793	61
59	国際医療福祉大	11,484	64
60	大和大	11,138	57
61	常葉大	11,098	51
62	大阪経済法科大	10,813	60
63	杏林大	10,770	71
64	中部大	10,754	70
65	愛知工業大	10,560	66

順位	<66位~100位>	志願者数	前年順位
66	福岡工業大	10,530	75
67	大阪産業大	10,270	72
68	国士館大	10,193	56
69	立正大	10,129	68
70	昭和女子大	9,890	77
71	日本女子大	9,702	74
72	愛知淑徳大	9,507	73
73	大阪経済大	9,202	69
74	麗澤大	9,054	67
75	名古屋学院大	8,914	83
76	東邦大	8,652	84
77	東京経済大	8,523	78
78	北海道科学大	8,250	88
79	武庫川女子大	8,233	76
80	亜細亜大	7,719	92
81	広島修道大	7,599	81
82	名古屋外国語大	7,571	79
83	東京女子大	7,356	80
84	多摩美術大	7,263	95
85	岡山理科大	7,170	89
86	藤田医科大	7,149	91
87	玉川大	7,022	107
88	武蔵野美術大	6,984	97
89	久留米大	6,937	85
90	北海学園大	6,557	90
91	関西医科大	6,384	120
92	昭和大	6,365	94
93	金沢工業大	6,299	86
94	大正大	6,266	110
95	大同大	6,070	98
96	神奈川工科大	5,817	87
97	関西外国語大	5,705	132
98	佛教大	5,559	82
99	大阪医科薬科大	5,515	112
100	同志社女子大	5,487	96

©obunsha2023

<備考>

※一般選抜(独自+共テ) 志願者数判明分(旺文社調査:7月末現在)。

※特別入試等の志願者数を一般選抜の志願者を含む大学は除く。

※非公表の学部・学科、入試方式等がある大学は除く。